



■ 学校教育目標

『自ら・共に拓く堺小っ子』

- 進んで考える子
- 思いやりのある子
- 心と体をきたえる子

発行日：令和4年9月9日

学校評価を受けて ステップアップ 家庭と連携して

【ねらい】

・北海道の自然・文化・歴史に触れ、総合的な学習の時間の学習テーマである「北海道の魅力」について、学んだりする「自主研修」を行い、実践的な課題解決能力を養う。

・旅行を通じて、規律ある団体行動のあり方を学ぶとともに道徳的实践力を付ける。

【育成を目指す資質・能力】

・自主性・想像力・自立心・自己判断力



道博物館にて、学芸員の説明を真剣に聞き入る6年生！

強くお願い致します。

前号では学力テスト等の分析結果をもとにした、後期の「学力改善プラン」についてご紹介しましたが、今度は学校評価結果を受けての後期における「課題解決策」について、次号にわたってご紹介致します。ご家庭と共通理解を図り、学校と家庭、両輪となって子供たちの課題解決、成長を支えていきたいと考えていますので、ご理解の程、どうぞ宜しくお願い致します。

本校が育成を目指す資質・能力において、「自主性」や「自己判断力」があまり身につけていないという回答が30%を超えていました。そこで、全校で、以下の点を重点にして取り組んでいくことにしています。

- 授業や生活場面の中で自信をもたせる言葉がけを意識しての指導を心掛ける。
- 出来たことへの称賛などについて、家庭学習や日記へもコメントとして書き込み伝えていく。
- 授業での交流場面などで、自由に移動できる約束、ルールを全校で揃えていく。

2学期がスタートし早いもので3週間となりました。気が付けば、9月に入り、爽やかな秋風が心地よい、ほのかに秋の気配が感じられる今日この頃となって参りました。そんな中、9月1日（木）から一泊二日の日程で札幌方面への6年生による『修学旅行』を実施しました。コロナ禍ということで、マスク着用、バス3台に分けてなど、感染防止対策を徹底しながらの旅行となりました。子供たちはこの2日間、見学先での挨拶、話や説明の聞き方・反応、時間を意識してのグループ行動等、左記のねらいを意識した行動が目につきました。北海道博物館での学芸員の説明が終わるや、自然発生的に「ありがとうございました！」という感謝の言葉が子供たちから発せられた時には鳥肌が立ちました。

6年生としての成長した姿を存分に見せてくれました。2日間、天候にも恵まれ、子供たちにとっては、大変充実した思い出に残るものとなったのではないかと思います。

マラソン記録会がいよいよ来週に迫ってきました。子供たちは体育の時間をはじめ、休み時間も使って、それぞれ目標に向かって努力しています。学校としてはこの取組を通して、「忍耐力」や「自主性」を培っていくため、指導を工夫するとともに、子供たちを励ましてきました。ご家庭でもお子さんへの励まし、声掛けを、最後の最後まで粘り